









(出席者) 新井博 田中実 和田孝明 和田幸子 水口英男 杉野和夫 金子茂夫 福井豊 堀良慶 井澤尚子 宇都宮義文 佐々木征 秋山功 野原宏 鈴木忠男 伊東總吉 小松富士男 木村悦雄•正子

(順不同、敬称略)

あーと・わの会 (通称「わの会」)

第51回放談会



日時 2018年7月7日(日) 13時20分~14時30分場所 東京 ホテルニューオータニ・ガーデン・コート 4階 レストラン"ガンシップ"の会議室 出席者 (計19名)

第51回放談会(発表順)

出品者 新井博さん



作家名 四竃公子 作品名 「入曽晩秋」 材料・技法 油彩・キャン バス

制作年 2000年 サイズ 2号

コメント 1935年生れ 個展を中心に活動 2010年梅野記念絵画館で企画展 開催

作家略歴 四竈公子 (しかま・きみこ/1935年~) 茨城県生れ。明治学院大学で社会福祉を学ぶ。

77年武蔵野美術短期大学卒。84~2000年銀座、 ギャラリータカノで個展開催。98,05、15年フィリア美館 で個展。98年画集刊行。2010年梅野記念絵画館で個展。

出品者 田中実さん



作家名 山口長男 作品名 「轡」 材料・技法 水彩・紙 制作年 不詳 サイズ 色紙 サイズ

コメント 絵の見方が変わった絵です。

作家略歴 山口長男 (やまぐち・たけお/1902~1983年) ソウル生れ。

1927年東京美術学校西洋画科卒。27~31年渡仏。 38年九室会結成。45年二科会会員。54~74年武蔵野 美術学校/大学教授。武蔵野美術学園長を務める。 62年芸術選奨文部大臣賞を受賞。東京で没、80歳。

出品者 和田孝明さん



作家名 山下新太郎

作品名 「花」 材料·技法 油彩·紙

制作年 不詳

サイズ 18. 8×14. 8cm

コメント

東京・根岸の東京一とも言われた表具師の家に生まれる。 幼児期より絵画に親しみ、1901年、画家を志望して藤島 武二に師事し、木炭画を習う。同年、東京美術学校に入 学、同期に青木繁、熊谷守一、和田三造などがいる。額 の裏にコメントを書いた紙が貼られている。

「山下新太郎氏」

日本洋画界の巨匠、二科会会員。東京美術学校卒業後 フランス巴里に留学、もっぱら印象派のコラン、アカデミストのコルモンについて学び、印象的な美しい色と調子を 持った画を描きます。

作家略歴 山下新太郎 (やました・しんたろう/1881~1966年) 東京生れ。

藤島武二に師事。1904年東京

美術学校西洋画選科卒。05~10年仏留学、ラファエル・コラン、フェルナンド・コルモンに師事。14年二科会創立会員。31,32年再渡欧。35年帝国美術院会員の5帝国芸術院会員。36年一水会創立会員。55年文化功労者。東京で没、84歳。

◆和田幸子さん 夫婦で海外の美術館への訪問について フリープランで自由に目的の美術館を訪問 その度冒険しています。

水口英男さん 放談会に初参加

くごあいさつ> 新しく会員とさせていただきました水口英男と申します。実川暢宏さんより「わの会」のことを知りました。故尾崎正教さんがしてこられた「わたくし美術館」運動を続けられて活動されていたと知り、驚きと共に嬉しく思います。私は、若い時現代版画センターで働いておりました関係で実川さんや尾崎さんとも知り合いになりました。裾野アートハウスは、1986年に現代の美術家の作品を身近に親しんで頂きたいとの思いで開設いたしました。これまで多くの作家を紹介してきましたが、より一層、アートを楽しむ場にと展示スペースを増築して高木倶・山口源両氏の美術館を開設しました。 高木氏とは、開廊当初から交流がありこれまでに3回の展覧会をしております。一昨年他界され、残された作品がうずもれてしまうと憂慮し遺族と相談のうえ常設の場所を設けました。また、高木氏が懇意にされていた版画家の山口氏の作品も合わせて展示します。山口氏の作品は国際的に高く評価され、沼津市立美術館(モン・ミュゼ)にも多数収蔵されていますが、抽象作品ということもあり一般にはあまり馴染みがありません。目に触れる機会を増やすことで氏の抽象世界も楽しんで頂きたいと思います。

美術館とは言えないほどの小さなスペースですが、両氏の作品を知っていただき、後世に残す一助となればと思っています。 また美術書などの資料も自由に閲覧できオープンなスペースとしてコンサート・レクチャーなどの利用にも対応したいと思います。是非、裾野アートハウスの扉を開いてください。

<裾野アートハウス 水口英男>

〒410-1123静岡県裾野市伊豆島田355-3 裾野アートハウス

電話: 055-993-5930 E-mail. <u>susono-art@sf.tokai.or.jp</u> URL.

http://arthouse.sp.land.to./

出品者 杉野和夫さん



作家名 近藤浩一路作品名 「石山秋月」 材料・技法 紙本・墨彩

制作年 不詳

サイズ (5号) 27.5×35cm

コメント

近藤浩一路は「光の画家」といわれている。田園 や林間風景、人々の行き交う御中の描写などに 描かれる朝陽、夕陽、雨上がりの景色など爽やか な光溢れる美しい画面や、夜の闇の中にほのか に灯る家々の暖かい光、灯火が水面に映える微 妙な光、動きのある強い光など、様々な光を描き 出し見事に表現している。(近藤浩一路作品集よ り抜粋)

作家略歴 近藤浩一郎(こんどう・こういちろう/1884~1962年) 山梨県生れ。1 910年東京美術学校西洋画科卒。15年読売新聞社入社、漫画、挿絵を描く。21 年日本美術院同人に推薦。23年京都に移る。自宅に画塾開く、院展に出品。36年日本美術院を脱退。東京に転居。53年京都市美術館での近代日本美術回顧展に出品。日本橋三越で水墨30年回顧展開催。62年没、78歳。近藤浩一路記念南部町立美術館設立。

出品者 福井豊さん



作家名 エミール・ガレ (Charles Martin Émile Gallé) 作品名 青花帆掛舟図輪花皿 材料・技法 コバルト顔料下絵付け・ 軟質陶器

制作年 1880年頃(推定) サイズ 直径24×高さ2.5cm

コメント タイル研究家・山本正之氏 (2000年没) 旧蔵品。 「オランダ・タイル」INAX出版(1987年)掲載。

作家略歴 1846年仏ナンシー生れ 1904年ナンシー没 58歳。

出品者 金子茂夫さん



作家名 福井良之助 作品名 「うつむいた子」 材料・技法 油彩・キャンバス

制作年 不詳 サイズ 32×24cm

コメント

薄塗りで深みのある静寂さに作家の面目躍如という絵か!

オークションで出ていた福井の3点(他は「舞妓」「雪景」)うち最も人気が無かったが、出品者にとっては最も好ましい作品でした。

作家略歴 福井良之助 (ふくい・りょうのすけ/1923~1986年) 東京生れ。 1944年東京美術学校工芸科卒。54年自由美術協会展で佳作賞。55年孔版 画を始める。59年初個展を開催。66年より度々渡欧。謄写孔版による孔版画。 85年長谷川仁記念賞を受賞。相模原市で没、62歳。

出品者 堀 良慶さん



作家名 高間惣七 作品名 「海の風景」 材料・技法 油彩・板 制作年 1950年 サイズ 20.8×27cm

コメント 色彩の美しさで買った作品です。 海の美しさは藤島武二作品に惚れて真似をしてき ましたが中々夕焼け、朝焼けの色が出せず苦労し たことを思い出します。

作家略歴 高間惣七 (たかま・そうしち/1889~1974年) 東京生れ。 白馬会洋画研究所に通う。1916年東京美術学校西洋画科選科卒。14年 大正博覧会で一等賞。18,20,21年文展、帝展で特選。24年槐樹社創立会員。32年東光会創立会員。39年主線美術協会創立会員。55年独立 美術協会会員。59年日本国際美術展で優秀賞。横浜で没、85歳。

出品者 宇都宮 義文さん



作家名 麻田浩

作品名 「コスモス・宇宙」(仮題)

材料・技法 リトグラフ・試刷?

制作年不詳

サイズ 57×45. 5cm

コメント

手製に近い天体望遠鏡で夜空を眺めるのが好きで 宇宙空間を思わせる作品であり求めた。

例によって「お値段お手頃」であったが試し刷りとあるから珍品の類であろう。名画(映画の)「2001年宇宙の旅」のラストシーンを想い出させて呉れる。試し刷りとあり、刷りムラがあるが対面する人物、その下の方形の庭園らしい部分は細密に刷られている。仔細にご覧頂きたい。(余談。日本画の麻田辨治が父、同麻田鷹司が兄であることを今回承知した)数年前、当会有志で金井さんのミュージアムまどをお訪ねした時、麻田氏作品を多く拝見した。

今回入手し、不思議なゴエンを感じる。其の際、ゴチになった新ソバが絶品で忘れられない。食いしん坊なのである。 H30・7・5 ギャラリー珍品堂亭主 敬白

作家略歴 麻田 浩 (あさだ・ひろし/1931~1997年) 京都市生れ。 1955年同志社大学卒。68年新制作協会会員。京展須田賞。71年渡仏。プリ・ナショナル賞受賞。カンヌ国際版画芸術ビエンナーレ第1位受賞等多数。 細密な洋画を制作し、銅版画家としても活躍。京都府文化功労賞。 97年自死。65歳。

出品者 佐々木 征さん



作家名 鶴岡義雄

作品名 ① 「風景(仮題)」 材料·技法 素描(淡彩)·紙

制作年 1955年

サイズ 26. 5×36. 4cm

コメント

入手時、鶴岡政男か義雄の作品か迷ったが、岩本氏のアドバイスで義雄作と特定し、その後、画家本人に確認し、真筆と判明。

作家略歴 鶴岡義雄(1917~2007年) 生地:土浦市。学歴:日本美術学校。師:林武。所属:二科会会員、サロン・ドートンヌ会員。受賞歴:32回二科展で二科賞。50回展で会員努力賞。55回展で青児賞。59回展で総理大臣賞。1989年日本芸術院賞。1994年日本芸術院会員。役職:二科会理事長(2002~2006年)

出品者 佐々木 征さん



作家名 鶴岡義雄 作品名 ②「バラ図」 材料•技法 油彩・キャンバス 制作年 1958年 サイズ 53 × 46cm

コメント 手元素描画とサインの特徴が似ていたため、 初期作と判断した。その後、義詮(ヨシアキラ)氏(子息・ 画家)に照会し、取り扱い画廊から「おそらく義雄作と思 われる」との回答を得た。鑑定保留中。

鶴岡義雄(1917~2007年) 生地:土浦市。学歴:日本美術 学校。師:林武。所属:二科会会員、サロン・ドートンヌ会員。受賞歴:32回二 科展で二科賞。50回展で会員努力賞。55回展で青児賞。59回展で総理大 臣賞。1989年日本芸術院賞。1994年日本芸術院会員。役職:二科会理事 長(2002~2006年)

秋山 功さん 出品者



作家名 高間惣七

作品名 「赤と青乃いんこ」 材料•技法 油彩・キャンバス

制作年 不詳 サイズ 3号位

コメント

高間惣七といえば、東京美術学校在学中に文展に入選し、 文展、帝展と6年連続して特選を受賞するなど、 若い時からその才能を評価され、将来を嘱望された画家で ある。当時は、「人気の梅原龍三郎」「実力の高間惣七」と 言われていたというからその実力のほどがわかる。ところが

展に出品して周囲を驚かせている。すでに日展を代表するような存在であったのに、あえて権 威的なものから離れ自由な創作活動を求めたところにこの作家の真骨頂がある。晩年は、本 作品のように抽象的で明るく鮮やかな色調の画風となり、身の回りの生活風景や自宅で育て ている鳥をテーマに詩情あふれる作品を遺した。これほど魅力あふれる画家であるにもかかわ らず、近年ではその名も聞くことがなくなった。忘れ去られるには惜しい画家であり、もっと評価 されるべき画家だと思うのだが如何だろうか。

作家略歴 高間惣七 (たかま・そうしち/1889~1974年) 東京生れ。白馬 会洋画研究所に通う。1916年東京美術学校西洋画科選科卒。14年大正博覧 会で一等賞。18,20,21年文展、帝展で特選。24年槐樹社創立会員。32年 東光会創立会員。39年主線美術協会創立会員。55年独立美術協会会員。59 年日本国際美術展で優秀賞。横浜で没、85歳。

出品者 野原 宏さん



作家名 平澤喜之助 作品名 「琉球模様」 材料・技法 油彩・キャンバス 制作年 1973年 サイズ 6P

コメント

ある画廊で平澤喜之助の裸婦の絵に巡り合い一目ぼれして買うと言うと、海老原喜之助とは違いますからと念を押すように言われたことを思い出します。私がこの画廊で今まで買っていた作品とあまりにもかけ離れていたからでしょうか、いずれにしても気に入った作品でいつも身近にあります。額も画家の制作したものと判明しました。梅野記念絵画館で2016年10月~2017年1月に開催された平澤喜之助展は素晴らしいものでした。大作は美術作品の展示会場を有する地元の有名企業が全部収蔵して公開しています。地元長野には作品愛好家が大勢いることがわかりました。これぞ地元にも愛される本物の画家だと思います。

作家略歴 平澤喜之助(ひらさわ・きのすけ/1919~1994年) 長野県生れ。1938年帝国美術学校中退。中川紀元に師事。小泉清のフォーヴと出会う。朝井閑右衛門の知遇を得る。56年代々木絵画研究所講師。64年大調和会参加94年まで運営委員。新樹会出品。94年没、74歳。

出品者 伊東總吉さん



作家名 野田哲也

作品名 「日記1970年5月11日」

材料・技法 木版3版・

シルクスクリーン2版 和紙

制作年 1970年

サイズ 45×45cm Ed. 30 4/30

コメント

野田哲也----人と作品(東野芳明1930~2005美術評論家)

1970年前半、アメリカに渡った野田の作品には、当時の 反体制運動の情景が数多く登場する。きわめて私的な、 密室的な、「女と椅子」を見つめつづけてきた作家に、外 側の、異国の、揺れ動く現実が熱風のように襲いかかっ

たことだろう。"Earth Help"というプラカードを持って座り込む若者たち、警官隊と過激派学生との衝突、パトカーと女、政治家のテレビでの演説---人物の一人だけ白抜きになった作品もあれば、群衆の一点にライフルの照準器のような同心円の中心が設定されている作品もあるし、また、写真と写真の輪かくをたどったデッサンとを対比させた試みも見られる。ここでも、写真から版画としての表現への質的変換は見事だが、一方で、それが、このシリーズを、作者は、傍観者としての作者が見た、反体制運動の風俗画にしてしまっているともいえよう。ともあれ、イスラエルの女性と結ばれる日本の青年が、はじめてのアメリカ旅行でかすめとった光景の断片の中には、イスラエル人問題をはじめとする世界の難問の数々が埋められているのだろうが、ぼくらには、題名として、日付が与えられているだけである。(この半年ほどのアメリカ旅行では、ほかに、美術館の光景、友人との交友、ポルノ風イメージなどが、反体制運動の図と交互してあらわれる。)カメラを手に、日常という時間の断片を切り取っては、これを、木版とシルクスクリーンで変質し、いぶし銀のような、いわば、時間が褪色してしまったような肌合いをほどこすこの版画家にとって、生活とは、ただひとつの目前の現実でありながら、同時に全世界をからめとるための格好の場にほかならないのかもしれない。

作家略歴 野田哲也 (のだ・てつや/1940年~) 熊本県生れ。1963年東京藝術大学院絵画研究科油絵専攻卒。65年同大学大学院絵画研究科油絵専攻修了。68年東京国際版画ビエンナーレ国際大賞を受賞。91年東京藝術大学教授。2014年大英博物館で半年間個展を開催。東京藝術大学名誉教授。

出品者 小松富士男さん



作家名 高山恒 作品名 「作品」 材料・技法 ミクストメディア 制作年 1970年 サイズ 18×13cm

作家略歴 高山 恒(たかやま・ひさし/1978年~) 京都精華大学芸術学部建築分野卒。埼玉県在住。個展 2004年「無限妄想」小野画廊、05年「身体新構築1」、06年「身体新構築2」東京小野画廊、07年「妄想的身体構造」東京・exhibit Live & Moris O8年「DAYDREAMING」東京 The art Complex Center of Tokyo

出品者 鈴木忠男さん



作家名 柄澤 齊 作品名 「肖像 XVIII・ イシドール・デュカス(ロートレアモン)」

材料·技法 小口木版画制作年 1984年

サイズ 16.5×10.4cm (イメージサイズ)

コメント

コレクターの始めは版画から。当時「日本の近代(現代?)版画展」があり、肖像シリーズ3点あり、これだと思い、どこに行けば手に入るかと、でシロタ画廊(銀座)に行き収集した。残念ながら、すでに I 期は終了していて、絶版(ボードレール・ランボー他)あり。その後、 I 期、 II 期のほとんど集めた。「デュカス」も好きな作品である。手元で、そのキザミをよく見て欲しい。

作家略歴 柄澤 齊(からさわ・ひとし/1950年~) 栃木県生れ。197 1年創形美術学校版画科入学、日和崎尊夫に木口木版を学ぶ。74年同校研究科版画課程修了。75年日本版画協会会員。77年「鑿の会」結成。91年「柄澤齊木口木版画集1971-1991」刊行。06年栃木県立美術館、神奈川県立近代美術館鎌倉館で回顧展。

出品者 木村悦雄・正子さん



作家名 吉仲太造 作品名 「自画像」

材料・技法 鉛筆・デッサン 紙

制作年 1952年

サイズ 36×26cm

コメント 自画像とは作家のその時々の内面の 表現この時の作家の心の内は

作家略歴 吉仲太造 (よしなか・たいぞう/1928~1985年) 京都生れ。 京都の行動美術研究所に学ぶ。

1946年行動展に出品。53年行動美術賞。54年瀧口修三の選考による初個展。55年岡本太郎の招きで55年二科会会友、九室会に参加。59年退会以降無所属。企画展に出品、招待出品。

前衛芸術家として実験的制作し続けた。75年横浜市民ギャラリーで個展開催。 東京で没、56歳。

以上

発 行 : あーと・わの会 発行日 : 平成30年7月吉日

編集:実行委員

司会進行書記 堀良慶

写真、編集(デザイン、フォーマット、字体) 井澤尚子

連絡先 : 事務局 〒277-0871 柏市若柴1-358

TEL 04-7134-8293 ryokeihori@yahoo.co.jp